

# 計測機器事業

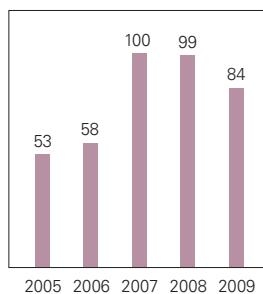
▶ 分光放射輝度計  
「CS-2000」



3月31日に終了した各会計年度

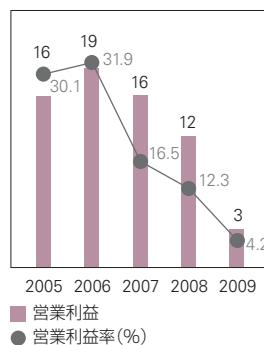
売上高

(億円)



営業利益／営業利益率

(億円)



## 2009年3月期のレビュー

- 主要3分野である、光源色、物体色、三次元の主力新製品に注力し、販売拡大に努めました。また、欧米市場における販売体制の見直しや収益性の改善など体質強化にも取り組みました。

光源色分野では分光放射輝度計「CS-2000」、物体色分野では「CM-700」、三次元分野では三次元デジタイザ「RANGE(レンジ)7」と、それぞれの主力新製品で販売拡大に努めましたが、世界経済の急減速の影響により、当事業のお客様である自動車や電機などの製造業における設備投資が抑制され、いずれの分野も販売数量が伸び悩みました。

これらの結果、当事業の外部顧客に対する売上高は84億円(前期比15%減)、営業利益は3億円(前期比71%減)となりました。

## 今後の事業展開について

- 企業の設備投資抑制が当面続くことが予想される中、景気変動の影響を受けにくい医用、食品分野への新製品投入や今後成長が期待できるLED照明、太陽電池評価分野への新規開拓などによる販売拡大に努めます。

一方で、光計測で培ったセンシング技術の強みを活かして、グループのコア技術と複合化させることによって業務拡大を図ります。

▶ 非接触3次元デジタイザ  
「KONICA MINOLTA RANGE7」



▶ 分光測色計  
「CM-700d」

